



2009年5月16～17日 全日本フォーミュラニッポン 第5戦 参加台数13台
サーキット 鈴鹿サーキット

フォーミュラニッポンの第5戦が鈴鹿サーキットで行われました。

今回がシーズン後半戦のスタートということで、いいスタートが切れるように臨みました。土曜日の午前中に行われた、練習走行でマシンの調整を行いました。今回は天候が良く、ドライコンディションのセットアップに集中しました。

予選

天候・・・晴れ

今回も予選はノックアウト方式が採用され1セッションごとに下位のマシンが脱落していくルールでした。

Q1・・・/5位

20分間で行われました。始めに公式練習から変更したセッティングの確認をしました。そして、残り6分過ぎに、NEWタイヤを装着しタイムアタックに入っていました。アウトラップともう1周でタイヤを暖めてからアタックに入りました。マシンのバランスが公式練習の時よりも良くなっていたので5番手タイムを出すことができました。

Q2・・・/8位

10分間のインターバルを挟み残った11台でQ2が行われました。前回富士のときに試した、先にフロントタイヤだけをスクラブするためにコースインし、すぐにピットに戻り待ちました。時間になり、アタックに入っていました。しかし、マシンのコントロールがQ1の時よりも難しくなってしまう、前半セクションでタイムを更新することができず、ギリギリの8番手タイムとなっていました。

Q3・・・/3位

10分間のインターバルを挟み最後の予選に臨みました。Q1のセッティングをベースにマシンのセッティングを変えてQ3に臨みました。タイヤの使い方も、Q1と同じように2周使い、1周だけのアタックに入っていました。マシンのフィーリングが、3回の中で1番良く、1周のアタックをまとめることができ、今季2度目の3番手グリッドを獲得することができました。

決勝・・・/9位

天候・・・晴れ

日曜日の午前中に行われた30分間の走行で、決勝と同じガソリンを積んだ状態でバランスを確認しました。車高やダウンホースの量などをチームと相談しながらセットアップして行きました。タイムも、4番手タイムで走行を終えることができました。

午後2時30分にフォーメーションラップが開始され、タイヤを暖めながらグリッドに戻りました。ここで、レッドシグナルがついているときに、クラッチミートの調整中にマシンを少し動かしてしまいました。よって、ポジションを1つ下げてしまい、さらに、フライングスタートのペナルティーを受けてしまいました。ピットスルーペナルティーを受けた後、もう1度プッシュしようと走ったのですが、フロントタイヤを前半のうちに、表面を荒れさせてしまい、ペースを上げることができませんでした。予定よりも早くピットインし、タイヤ交換と給油を行いコースに戻りました。その3周後に1台を抜き1番手に上がり、前を行くマシンとの差を詰めようと最後までプッシュし続けました。最終ラップにアクシデントがあり2つポジションが上がりましたが、9位という結果で終わってしまいました。

今回、予選では、チームとできる限りの力を出し、3番手グリッドと獲得することができました。

チームが変更したセッティングが本当にいい方向にいきタイムを出すことができました。しかし、レースでは、焦りもありフライングスタートをしてしまったせいで、すべてを台無しにしてしまいました。本当に申し訳なく思います。

次回、ツインリンクもてぎで行われるレースは、さらに暑くなることが予想されるので、トレーニングを重ね、今回ミスした分を取り返すようにがんばります。

次回のレース・・・8月8, 9日 ツインリンクもてぎ

塚越廣大